

プラスアルファ

STEP by STEP～共に乗り越え明るい未来へ～

2025年 7月 7日発行 No. 425

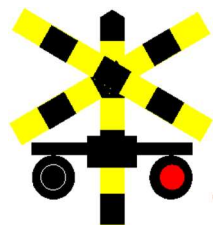
常任委員 豊茂 拓実
多度津工場

今週の作成担当

JR四国労組
LINE公式アカウント

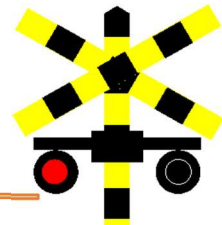


友達募集中



踏切ちゃんと渡ってね！

鉄道版交通安全教室 開催！



2025年6月16日（月）、香川県高松市の「学校法人聖母学園 高松聖母幼稚園」にて『鉄道版交通安全教室』を開催しました。各県の青年女性会議が持ち回りで開催し、平成15年から23回目の開催となります。今回は、香川支部青年女性会議のメンバーを中心に10名が参加し、園児76名の前で、【踏切の正しい渡り方】や【列車は急には止まらない】などを伝えました。

この活動は、青年女性組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリハットの経験を教訓に「子供が列車にはねられた事故」ではなく、「自分たちの仲間が、跳ねざるを得なかった事故」として捉え、このような痛ましい事故が今後二度と起こらないように、ボランティア活動の一環として企画・開催をしています。

☆しげちゃんとひろみちゃんによる危険性の実演☆

分かりやすく・楽しく伝えるため、「しげちゃんとひろみちゃん」のふたりの園児になりきって「線路のそばでは遊ばない」「列車は急には止まらない」の2部構成で劇を行い、線路や踏切近くで危ない行動をとるとどうなるかを通じて、鉄道に潜む危険性を伝えました。

園児たちはとても楽しそうに笑いながら、そして時には真剣な眼差しで見てくれて、「しげちゃん・ひろみちゃん」「運転士・車掌」が登場した際は歓声も上がり、ハイタッチをしながら園児の周りを歩き、劇をしていた私たちも楽しい雰囲気の中で演じることができました。「おじさん」が登場した際にはこの日一番の園児たちの笑顔や明るい声が園内に溢れました。今回の鉄道版交通安全教室をきっかけに、これまでよりほんの少しでも気を付けて踏切を渡るようになり、鉄道をもっと身近に感じてくれたら嬉しいと感じました。



おじさん登場

☆渡り方教室 ～一緒に練習してみよう～☆

劇が終わったあと、しげちゃんとひろみちゃんが「踏切の正しい渡り方」のお手本を見せました。しっかり左右を見て手を上げて渡ることや警報機が鳴っているときは踏切が下がってなくても待つことをみんなに学んでもらいました。そして学んだことを活かし、園児 5 人程度のグループに分かれ、実際に踏切を渡ってもらいました。渡るときには青年女性会議メンバーも一緒に「右見て！左見て！」と指を指しながらサポートし、園児のみんなもきちんと確認してから元気よく渡ってくれました。

短い時間でしたが、園児のみんなは、「楽しかった」と言いながら、手を振って笑顔で教室へ帰っていきました。青年女性会議メンバーも大勢の子ども達と触れ合う事で楽しいひと時を過ごすことができ、鉄道で働くものとしての使命感や自分たちの職責の重要さを改めて感じ、とても有意義な活動となりました。

今回、鉄道版安全教室を見てもらった園児の中から、将来のなりたい職業として運転士や車掌を選んでくれる子が増えたら良いなと思いました。十数年後一緒に働ける仲間がいることを楽しみに、今後もこのようなボランティア活動が続けていきたいです。



右よし！左よし！前よし！

みんな元気いっぱい！

上手に渡れました！



高松聖母幼稚園の皆さん！
ありがとうございました！